

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|----|
| 【担当教員名】 櫻井浩治 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 社会 |
| | 開講時期 | 通年 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 4 | 時間数 | 60 |

<教育目標：G I O>

精神の異常の多面性と発祥因の複雑さを知ること、精神障害の正しい理解と精神障害者への偏見を無くすことを図り、もって専門職としての活動に役立たせる。

<行動目標：S B O>

- 1 精神に関連した脳の働きについて理解する
- 2 精神異常の状態像を正確に把握できる。
- 3 精神障害の治療について理解する。
- 4 精神障害者の対応の仕方を身に付ける。
- 5 精神障害者の人権のあり方と処遇について知る。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|-------|--|-------------------|---------------|
| | | 番号 | 学習方法又は備考・担当教員 |
| 1～4 | I 総論 ①精神とは何か 精神を構成するもの ②精神の異常とは 心理テストと脳波 ③精神の異常はどのように現れるか 知的作業の異常・情動の異常・意志の異常・行動の異常・意識の異常・感覚の異常・人格の異常 ④精神の異常の原因と症状の把握の仕方 | 1、2、 3、4、 5 | 講義：櫻井 |
| 5～12 | II 各論 (1)原因別に因る精神障害と治療 ①脳に直接障害があって生じたもの 精神発達遅滞・痴呆・局所症状・意識障害 ②身体に基礎付けられた精神障害 薬物、中毒性精神障害・代謝性・内分泌性障害・膠原病性精神障害 ③心理的原因により生じるもの 神経性一とらわれの障害・心因反応性精神障害・心因反応性身体障害 ④人格の障害・行動障害⑤睡眠障害 | | |
| 13～14 | (2) 精神障害者の処遇 ①入院と法 ②精神病院の構造 | | |
| 15～18 | (3) 治療の実際 ②薬物療法 ③精神療法 ④その他 | | |
| 19～22 | (4) 特殊な状況下の精神障害 人工透析医療と臓器ターミナル期の医療 | | |
| 23～24 | (6) 精神科医療と生命倫理 | | |
| 25以降 | III 精神医学の総合的理解 夏目漱石・中原中也など | | |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|--------|---------------|--------|----------|---------------|
| 教科書 | 精神医学テキスト | 上島国利 | 南江堂 | 2000年 本体4200円 |
| 参考書 | 図説臨床精神医学講座全7巻 | 高蘭安雄・他 | メジカルビュー社 | 1988年 |
| その他の資料 | プリント | | | |

| | |
|--------------------|--|
| 【評価方法】 期末テストによる | 【履修上の留意点】 テキストとプリントを併用する 私語で周囲の邪魔をしないこと。 |
|--------------------|--|